

この報告書は、当日の発言（意見・質問・回答など）を、記録として取りまとめたものです。
未回答のものや、補足等が必要な回答は、整理のうえ、別途、ホームページに掲載します。

議会報告会報告書

令和6年8月15日

大竹市議会

議長 北地 範久 様

A 班

班長 西村 一啓

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

【 明るい街づくりYS連合、栄町を明るくする会、ハローの仲間 】

1 開催日時

令和6年 7月25日（水） 18時30分～20時30分

2 開催場所

アゼリアおおたけ 大会議室

3 参加人数

17人

4 担当班議員名

班 長 西村 一啓

副班長 小田上 尚典

班 員 末広 天佑、小出 哲義、山代 英資

5 報告会次第

（1）開会あいさつ

（2）議会からの報告

①定例会の流れ説明

②報公聴特別委員会の「市議会だより」取組み報告

③総務文教委員会の6月定例会報告（高規格救急車の更新、省エネ家電買替支援事業について）

④生活環境委員会の6月定例会報告（大竹駅前の駐車場設置・管理条例、木野郵便局の特定事務取扱郵便局指定について）

（3）意見交換

（4）その他のご意見

（5）閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

特になし

7 主な意見交換

(回答した質問)

Q：議会や委員会のYouTube放送の編集について、委員会での質問と議事録が不一致なのではないですか？

A：基本的には編集しません。本会議は報道されたものを、委員会はそのままYouTubeにアップロードしています。

Q：岩国大竹道路の工事遅延の理由について

A：岩盤が見つかったため、工事が遅延しています。岩盤の問題については議事録に記載がないため確認が必要です。当初の予算化の際にはボーリング調査が入っており、調査はしているはずです。

Q：人口減少に対する対策について

A：抜本的な改革は国の方針によるものです。根本的な解決方法はありませんが、市でできるだけ住みやすい環境を整えていくよう努力しています。

Q：ボランティア団体の高齢化と後継者不足について

A：行政との連携強化の必要性を認識しています。デジタルを活用して若い世代の参加を促す方法を模索し、次世代のリーダーを育てていくことも課題であると考えます。またその際に年配の方でもデジタルを使いやすいような環境を整えるとともに、自治会と行政の対話の機会を増やすことが重要です。

Q：大竹市のPR活動が足りないのではないですか？

A：議員全員その認識は持っています。最近は議会が若返り、それについて一般質問で言及することも増えています。

(回答しなかった質疑)

特になし

(要望・意見)

特になし

8 その他の主なご意見

特になし

9 気づきや反省点

- ・国全体の問題に対して時間を割きすぎました。市政にとって具体的な話をもっと引き出すべきだったと思います。
- ・アンケートについて、団体が参加している意味がない等の回答もあったので、もっと団体に沿った意見交換ができるようにグループ分けや進め方を模索すべきでした。